



広報

かなぎ

2001

2

No.418

緊張のスタート



2月11日
町民スキー大会
(嘉瀬スキー場)

思い出が
いっぱいある

「地吹雪体験」



・冬の金木町といえば地吹雪
その地吹雪を一度体験してみたいと全国各地から訪
れる観光客の方たち

毎日がまさに「地吹雪体験」の私たち
地吹雪体験について町の内と外からちよつとのぞい
て見ました

津軽の冬を満喫

楽しい

地吹雪体験

「地吹雪とはどんなものな
のか一度体験してみたい」
「冬の北国でゆっくりと田舎
を味わいたい」

そんな思いを抱いて、今年
も一月下旬から二月中旬にか



けて実施された地吹雪体験ツ
アーに、全国各地から約五百
人の観光客が訪れました。

参加者たちは一面の銀世界
に歓声を上げ、もんぺ、かん
じき、角巻きを身に付けて雪
原ウォークや馬そり体験。最
後に冷えた体をじゃっぱ汁で
温め、津軽の冬を満喫してい
ました。

地吹雪体験は
いかがでしたか？

今年一番の地吹雪が吹いた
二月三日。飛行機の欠航が相
次ぎ、地吹雪体験ツアーの予
約キャンセルも続出したこの
日は、気温氷点下一〇度とい
う猛烈な寒さと猛吹雪が参加
者を歓迎しました。

東京都から参加したのは、
足立区立第十一中学校の山梨



▲足立区第11中学校2年
の星野君、山梨さん、
宮沢さん

さんら一行。山梨さんらは青
森市主催の「雪のアイデア」
コンクールに入賞し、前日行
われた表彰式に出席のため青
森県を訪れ、地吹雪体験には
引率の先生と四人で参加しま
した。

山梨さんらは「寒いけど楽
しかった。また来たいです」
と元気に答えてくれました。
また、引率した杉浦先生は
「遭難したような感じがしま
した。顔が痛くなるほど冷た
くなり、息ができないほどの
強風は凄かった」と震えなが
らも本場の地吹雪に感激して
いるようでした。



厳しい寒さ

忘れられない 地吹雪体験

「あまりにも吹雪が強かったので仕事をずる休みしたことがある」「吹雪の中を運転して、気が付いたら反対車線を走っていた」…。

金木町に住む私たちには、地吹雪にまつわるエピソードや思い出は数えきれないほどあるはず。

あなたの地吹雪体験・地吹雪の思い出を聞かせてください。

角田 周さん

(金木・津軽地吹雪会代表)



今年の地吹雪体験ツアーでは、強い吹雪のため飛行機が欠航になり、来られなくなつた方がありました。地吹

雪を体験してもらうツアーなのに地吹雪のせいで参加できなくなるとは、ちよつと笑えない話ですね。

黒川菜穂子・加奈子姉妹
(嘉瀬・ガソリンスタンド勤務)



ガソリンスタンドの前は地吹雪がとて強いところで、一面真っ白になって信号が見えなくなつてもよくあります。自動車の衝突事故も多く、事故で困っている人のお手伝いをしたことも何度かあるんですよ。

工藤 ルミさん (藤枝)



四十年前、嘉瀬から藤枝に嫁ぎ、地吹雪の強さに驚いたのを覚えています。何処を歩いているのか分からなくなつて何度も「カッポリ」したこともありました。特に思い出に残っているのは、次女を出産した後で実家に里帰りした際にすごい吹雪に遭い、馬そりで嘉瀬に向かったものの道路が見えず、喜良市を迂回してやつとの思いで帰つたことですね。

逢坂 伸三さん

(金木・社会福祉協議会事務局長)



二十年前まで藤枝に住んでいました。昭和四十年ころはカッチョと同じ高さまで雪が積もり、吹き溜まりで道路がなくなつてしまうので、村の人たちが総出で踏み俵を履き、馬そりが通れるほどの道路を作つたものです。

地吹雪

いったん降り積もつた雪の粒子が風によって、主に地面近くを飛び跳ねるようにしながら、激しく移動する現象。

高い地吹雪

風速が毎秒八〜九mを超える風によって吹き飛ばされる雪が、目の高さよりも高くなつて見通しが悪くなり、空いっぱいに広がって太陽を隠すこともある。

低い地吹雪

吹き飛ばされた雪が目の高さより低い時をいう。

(青森地方気象台)



で き こ と



「エイ!ヤア!」金木柔道会 元気に初げいこ

金木柔道会（会長＝金本敬夫）の道場開きが1月16日、農業者トレーニングセンターで行われました。

道場開きには、幼稚園児から中学生まで20人が参加。柔道着に着替えた子どもたちは、今年一年の健康と安全を祈願して神事を行い、気持ちを新たに活躍を誓いました。

この後、早速初げいこを開始。柔軟体操で体を温めた後、気合の入った掛け声を上げながら投げ技や寝技の練習に汗を流していました。

大空を舞う凧のコンテスト

第20回金木町凧揚げ大会が1月21日、中央公民館前の広場で行われ、県内各地から97組、約300人が参加して腕を競いました。

当日は、絶好の風が吹き付ける凧揚げ日和。参加者らはスタートの合図とともにタイミング良く風を捕らえ、自慢の凧を揚げていました。競技は、揚げ方・安定度・鳴りを審査。ブンブンとうなりをあげ、次々と空を彩る津軽凧が、集まった人たちの目を楽しませていました。

また、この日は金木津軽凧の会婦人部がおしるこを振舞い、愛好者らの交流に一役買っていました。

大会の結果は次の通りです。（町内関係分）

【町内の部】 オープン参加 ☆最優秀賞 大東ヶ丘サントピアホーム
☆優秀賞 木下正義(嘉瀬) 岡田専九郎(喜良市) 大東ヶ丘サントピアホーム
☆努力賞 大東ヶ丘サントピアホーム



住宅無料相談日を開設

金木町商工会建設工業部会（部会長＝阿部正治）が2月4日、商工会館で住宅の無料相談を開設しました。

建設・製造加工業者等の経営の安定と消費拡大を図ろうと、町建築組合が住まいに関する質問を無料で受け付ける相談日を開設。当日は住宅増改築、屋根修理についての相談が寄せられ、大工部会や左官部会、板金部会など各部会の会員が一人ひとり丁寧に応じていました。

また、会場内には無料で包丁を研んでもらえるサービスコーナーが設けられ、各家庭から約400丁もの申込みが殺到する好評ぶりでした。

雪片付けのお手伝い

暖冬少雪の予想を大きく裏切って、よく降る今年の雪。慣れているとはいえ、高齢者らにとっては生活環境を奪いかねなくなっていることから、今年も社会福祉協議会と町職員がタイアップし、町内の除排雪作業に汗を流しています。

社協では、電話での依頼や民生委員からの連絡、また町内を巡回するなどして屋根や軒下、玄関前に雪が積もっている高齢者世帯を中心に12月半ばから作業を開始。2月上旬には昨年の3倍以上に当たる90軒以上の雪片付けを行いました。作業に当たった職員らは「疲れた、なんて言ってもらえない。お年寄りのことを考えると当たり前のことです」とスコップを片手に精を出していました。



ま ち の

力の入った人間ばん馬レース

町内42店舗が加盟している金木あすなる商店会(会長=秋元和雄)主催の大売出し「どかまけの日」が2月3日、4日の両日開催されました。

売り出し期間中は吹雪による悪天候で人出はいまいちでしたが、毎年恒例の「人間ばん馬ダービー」には約600人のギャラリーが詰め掛け、寒さの中、力の入ったレースが繰り広げられました。

役場前で行われたレースには、力自慢の6チームが出走。雪で作られた障害コースを4トントラック用のタイヤを引き、息を切らせて力走する選手らに、投票券を手にした人々から大きな声援が送られていました。投票券は6,801枚発行され、見事一着二着を的中させた365人が配当金1,000円分の商品券を受け取っていました。



国民年金情報



保険料をうっかり納め忘れたり、届け出が遅れたために納められなくなってしまう期間、あるいは免除を受けた期間があるという方も少なくないと思います。

国民年金では、保険料の納め忘れがあったり、免除を受けた期間については、年金額がその分減額される仕組みになっています。

そこで、このような場合でも

交通安全活動に尽力 葛西 文昭さん 緑十字金章受賞



長期間にわたり地域の交通安全活動と交通安全協会の運営に尽力したことが認められ、このほど葛西文昭さん(金木)が交通安全賞章緑十字金章を受賞しました。受賞式は一月十六日、日比谷公会堂(東京都)で開催された第四十一回交通安全国民運動中央大会において行われました。

葛西さんは、これまで地区協会専務理事、協会長、県協会評議員や理事として交通安全に尽力し、その活動は四十三年にも及びます。

現在は、平成二年から務めている金木地区交通安全協会々長として、管内二町二村の関係機関と連携を図りながら、交通環境の整備や交通安全意識の高揚、交通死亡事故の抑止に努めています。

国民年金は任意加入もできます

年金額を増やしたり、年金を受け取るのに必要な期間を満たす方法として、任意加入制度が設けられています。

任意加入ができるのは、日本国内に居住している方は六十歳から六十五歳まで、国外に居住する日本人については二十歳から六十五歳までです。

六十歳になるまでに、老齢基礎年金の受給資格を満たせなかった方や、受給資格を満たしてはいるものの満額の年金額に近づけたい方などは、この任意加入制度を活用して長くなった老後生活をより快適なものにしていただきたいと思います。

また、最近では海外へ留学する学生の方も大変多くなってきました。日本国内の学生の方には、保険料の納付を猶予するという特例措置がありますが、留学生の方にはありませんので留学している期間については任意加入することをお勧めします。

六十五歳までに老齢基礎年金の受給資格を満たせなかった方には、さらに七十歳まで任意加入できる特例も設けられています。

任意加入制度に関して、詳しくは役場国民年金窓口または社会保険事務所までお問い合わせください。



「十二月定例会」

十二月十二日からの一般質問で田中賢、田中賢一、秋元洋子、加藤馨、川口隆、桑田茂の六議員が登壇し、屏風山内真部線の通年通行や町債の内容等について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

田中昇議員「屏風山内真部線の通年通行の実現に向けた陳情の実施と町長の考えを問う。」

「運動公園管理室前の舗装整備はどうなっているのか。野球場のナイター設備の設置予定と草刈りはどうしているのか。トイレの水洗方法を改善できないか。テニスコートの照明器具は適切なものか。コート内の水のポンプアップに使用するコンセントを設置しないのはなぜか。」

「芦野公園内の遊歩道の草刈り状況とスロープ設置はどうしているのか。夫婦橋手前の建物の使用状況はどうなっているのか。賽の河原下の木橋と浮橋の照明の修繕はどうするのか。園内の桜の寿命と手入れ方法を知りたい。桜まつりの電気工事の発注方法はどうか。工事の際の園内の電柱やポールは美観に悪く、地下埋設をしてはどうか。」

鳴海町長「屏風山内真部線の通年通行については、これまでも知事はじめ西北五の行政連絡会議等で要望している。今後の陳情等については、議員方と相談していきたい。」
「芦野公園の草刈り面積は約二十五町歩あり、業者委託すると約七百五十万円必要となるが、直営により約二百四十万円です。実施している。今後も公園はきれいにしていかなければいけないので、検討課題としたい。遊歩道は、県の水と土ふれあい事業により整備されているが、事業が遅れているので早期完成を要望している。展示室のトイレは、幾度となく修繕しても、ガラス便器等が壊されるため、現在閉鎖している状態であり、今後の対応は常任委員会へ諮りたい。桜まつ

り電気工事は観光協会へ委託して行っているが、配線を準備している業者が有利のようであるので、入札方法等については再度検討したい。埋設については約一億円の工事費が必要と記憶している。常任委員会等で検討したい。」

企画観光課長「遊歩道のスロープは、車椅子等を考慮して設置したものが、斜度のきつい部分は階段状になっており、車椅子が利用できかねる状態となっている。賽の河原下の木橋と浮橋の照明は雪融けの三月末に修繕したい。動物園前から無料休憩所、広場付近等の園路については、舗装整備を実施したい。園内の桜は、年一回の剪定と防虫の薬の散布を実施しているが、高齢化しており、病気もついている。現在、桜の木のリストづくりを手がけており、それにより計画的に木の治療をしていきたい。」

教育次長「運動公園管理室前の舗装の補修には約三千万円が必要となる。トイレの水洗レバーは二段方式となっており、説明書を張っているが操作を誤った場合、放水状態となることもある。テニスコートの照明が眩しいということは初めて聞いた

話である。コートの水溜めは体協テニス部と協議して設置したもので、コンセントまでは要望されていない。野球場のナイター設備は、今後の総合的な見直しで検討したい。草刈り、排水路の泥上げ等は、職員や人夫により実施しているが、今後は団体への委託による管理体制も検討したい。」

田中賢一議員「平成十一年度と十二年度の町債の内容について知りたい。」
「金木川跡地利用について、どのような計画で進んでいるのか。」
「蒔田地区の道路改良は何年度から工事する予定か。」

町長「金木川移転工事は、十三年度金木橋の工事に着手して、十七年度完成の予定で進んでいる。跡地利用については、全部埋め立てて団地化や駐車場とする案と、公園または緑地として整備する案があるが、民家から流れる用排水に川を利用する必要があるので埋立てには町の多額な持出しがあることから、三つ目のせせらぎ河川、川の底上げをして水を流し、桜を植えるなどの案で意見の一致を見たと思っている。これに付随して、屏風山内真部線から金木

駅前を結ぶ道路を整備し、金木高校までの道路を拡張していきたいと考えている。」
「蒔田地区の道路改良は、できれば農業集落排水事業と並行させて整備することが経費の削減になると思っている。」

総務課長「町債は、十年度残高で約六十六億三千万円あり、十一年度に借入れた額が十三億五千万円ほどである。主なものとして、観光物産館建設に約二億九千七百万円、津軽三味線会館と連動したイベント広場整備に三億一千六百万円、高齢者生活福祉センター関連に七千八百万円、町道では更生部落線の道路改良に七千五百万円、喜良市小学校線、嘉瀬新町線、中柏木線に七千五百万円となっている。また十二年度の借入れ見込額は十一億四千万円となっており、主なものは喜良市小学校線、嘉瀬新町線、中柏木線に三億六千万円、町内全域の町道改良に一億円、株式会社野宮への地域総合整備資金貸付金として二億三千六百万円、川倉、喜良市、中柏木の農道整備に七千二百万円、嘉瀬コミュニティ消防センター建設に七千三百万円、過去の高利債の借換えに五千七百万円となっている。これらにより、